



『家事手伝い』のすすめ ～ 一日一回、家の手伝いを～

校長 鈿持 利行

一つめは、家族の仕事を手伝うことによって、家庭において自分の存在感が増し、仕事をする事で人の役に立つことに喜びを感じる事です。「おまえが手伝ってくれるから助かる。ありがとう」と言われると、自分は家庭の中で重要な役割を担っているのだという存在感を抱くことができます。そして仕事というものの大切さに気づき、将来自分はどんな仕事で社会的な貢献をしようかと、職業に対する関心を持つようになります。

二つめは、仕事を段取りよくできる力が身に付くことです。どんな仕事でも、能率的に行うには前もって段取りが必要です。「仕事は段取りで80%が決まる」と言われています。例えば、掃除でも、段取りの上手な人は、短時間で、しかも効率的に、きれいに仕上げることができます。したがって、掃除をさせてみれば、その人の力がわかると言われています。



三つめは、気配り・気づきのできる人間になっていくということです。社会に出ると、コミュニケーション能力の善し悪しが問われます。その際に、相手や周囲の状況をとっさに察知でき、それに素早く対応できれば、「あの人はできる」との評価を得られます。特にサービス関係の仕事は、顧客の抱えている問題をいかに速く解決できるかが勝負ですから、気配り・気づきの力が武器になります。この場合、指示待ち人間では勝負になりません。

四つめは、家族も含めて、周囲の人々や社会に対して、感謝の念を抱くことができるようになることです。どんな仕事でも自分ひとりの力ではすべてを成し遂げることはできません。そのことを家の手伝いをしていると察知できるようになります。そうなれば、両親をはじめ、先祖も含めた周りの人々への感謝の気持ちがわいてきます。

人は、消費活動だけの生活をしていると、自己中心的な人間になっていきます。しかし、家の手伝いを含めて生産活動に従事していると、そこでは他者との関わりの中で物事に対処することから、他者への配慮・思いやりが必要になってきます。この他者への配慮・思いやりが人間性を育てていくのです。高松中の生徒には『家事手伝い』を励行することで、親の苦勞がわかり、物事を段取りよくできる力を身に付け、気づきのある人間に育ってほしいと願っています。

夏休みは、家の手伝いができる大きなチャンスです。これまで、あまり家の手伝いをしなかった人も、ぜひ、この夏休みから始めてみてください。

1 学期を振り返って（主な行事から）

【1年生 移動教室 6/14～17・ 防災訓練 7/1】

中学生になって初めての宿泊行事。楽しみでもあり、多少の不安もあったかと思いますが、全員参加で長野県野辺山方面に行って参りました。大自然の中で、そこできれない体験をして帰ってきたその表情は、少し大人になったようにも見えました。

また、防災訓練では、高輪支所、消防署、警察署、保護者、地域の方々に来ていただき、こちらも大変有意義な実習ができました。ひと回り大きくなった今後の皆さんの活躍に期待しています。



【3年生 高校の先生の話聞く会】

6月14日（水）、16日（金）

今年度は、都立晴海総合高等学校、都立小山台高等学校の先生にお越しいただき、お話を伺いました。

それぞれ学校の特色や、カリキュラム、生徒の様子を聞き、これまで漠然と思いついていた高校生活が少し現実味を帯びてきたのではないのでしょうか。

夏休みに向け、高校見学などの予定をしっかりと立て、確かな進路選択をしていきましょう。



【白金小学校との交流会】 7月3日（月）

今年も白金小学校の6年生を招き、交流会を実施しました。当日はとても暑い日でしたが、白金小の児童は、元気にあいさつしてくれました。この交流の目的は、中学校の生活を体験することで、入学後の不安を解消し、中学校生活をスムーズにスタートさせることにあります。今年は数学、理科、社会の授業を体験しました。どの授業も楽しそうにかつ積極的に受けていました。また高松中生も生徒会役員を中心に、先輩として立派に学校生活の説明や部活動指導を行い、児童も真剣な態度で応じていました。この行事が、先輩・後輩としての人間関係作りに役立てることを願っています。9月4日（月）には高輪台小学校との交流会が予定されています。



1 学期もいろいろな場面でお手伝いいただきました（PTAの皆様）

今年度が始まり、慣れない中でのPTA活動でしたが、たくさんの保護者の方のお手伝いをいただき、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

今後とも、高松中の生徒のため、そして学校と地域とのつながりを大切にする活動を目指す取り組みを心がけて参ります。

ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



【高松交流ガーデン】



【あいさつ運動】